

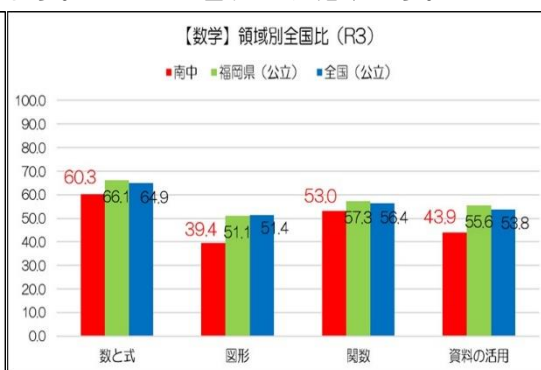
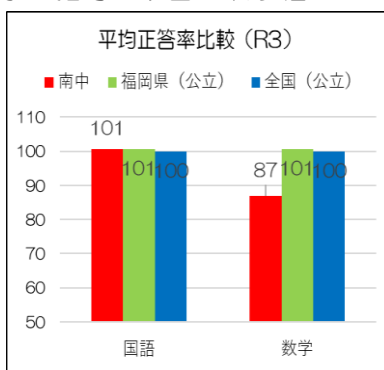
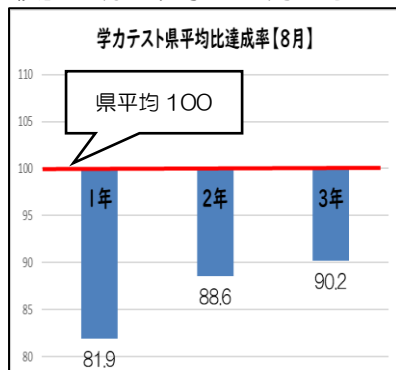
校長室からつぶやき・・・ 『ツイート』新聞



宇美町立宇美南中学校
第28号
文責 校長 熊本 寿美
令和3年10月6日(水)

学力の向上を目指して。 目的を明確にした家庭学習の取組徹底

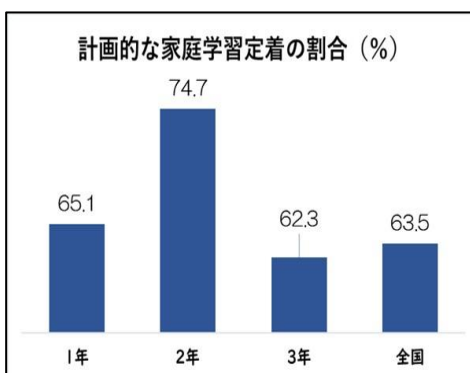
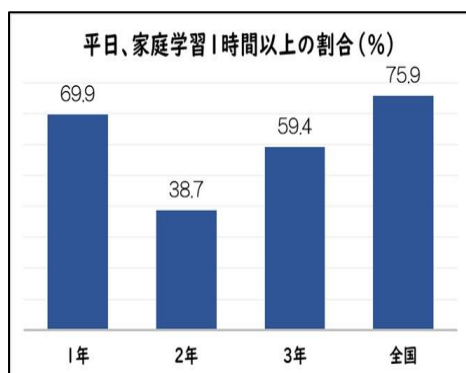
例年4月には、小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されています。また、本校では、全学年年間4回の学力分析テストを実施しています。実施後は、全国や福岡県との比較検証を行い、学力を向上させる学習指導の改善に取り組んでいます。グラフは各テスト結果です。



【学力分析テスト(8月)県比達成率】

【全国学力・学習状況調査(4月3学年)平均正答率及び領域別正答率】

8月実施の学力テストでは、すべての学年が県平均を達成できていない現状です。また、3学年対象の全国学力・学習状況調査では、数学において、県・全国平均を下回る結果となりました。領域別に見ると、図形や資料の活用において大きな差が見られます。この課題は、すべての学年において共通しています。



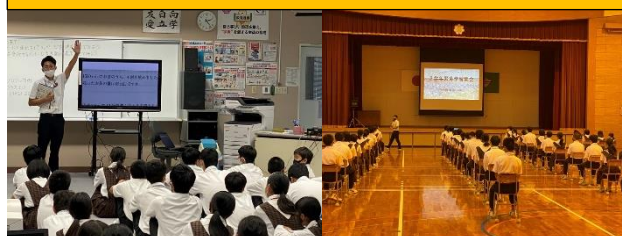
本校で実施している学校生活調査の家庭学習の定着と関連する調査項目を見ると、特に家庭学習に取り組む時間に差が見られます。時間だけではその効果は図れませんが、学習への意欲を高める自律的な学習姿勢の獲得には、家庭学習を習慣化させることが大切だと考えています。

まず、わかりやすさと丁寧な授業の提供を。



本校では、テスト等の結果を受けて学力検証ロードマップに基づく職員研修を定例化しています。結果の分析だけでなく、問題を分析して授業における発問や説明の行い方などについても研修を深めています。生徒たちの学習意欲が高まり思考を深める学びとなるために、まず、わかりやすさと丁寧な授業を提供していけるように研鑽と実践に努めています。

実態と向き合い、本気の取組に。



先日、各学年で学習に係る学年集会が行われました。学力の実態と向き合い、自己の課題克服に向けた本気度を高めるために、先生たちの熱い話がありました。義務教育を終える時に自分の夢の実現に向けた進路実現を、全員が果たしてほしい思いが込められています。家庭学習と連動する取組も発信され本気の取組がスタートしています。

「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり